



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 伊藤 淳

令和 6 年 4 月 1 6 日 No.1

『挨拶・返事・時間を守る・後始末』

4月8日の始業式、そして9日には新入生を迎えて、1年生156名、2年生155名、3年生162名の計473名で令和6年度がはじまりました。「信頼・温もり・笑顔」をキーワードに、「大人になる練習をし、夢をかなえる土台を築く生徒の育成」を目指して学校づくりに取り組んでまいります。保護者・地域の皆さまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【挨拶】

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気な挨拶はより良い人間関係を築くことができます。私も下校時に五中の門で帰る生徒に挨拶をしていますが、中学1年生の皆さんが小学生だった時にも自分から挨拶をしてくれる姿があり、いつもうれしく思っていました。この時間は、様々な方々と挨拶を通じてコミュニケーションが図れる、私にとっては大切な時間です。始業式でも、生活指導主任の長谷川先生から「挨拶がしっかりとできる五中に」という話のあと、気持ちの良い元気な挨拶をしてくれる生徒もいました。

【返事】

返事をするということは、相手の発言や声掛けに対する礼儀です。返事をするためには相手の話を素直に聞くということが必要になります。自分の意思が相手に伝わる様にそして、相手に敬意を表せるきちっとした返事を返せる人は素敵です。

【時間を守る】

時間を守るということは、信頼・信用をえること、反対に信用を失ってしまうことにも関わる最も簡単な行動の一つです。時間を守るということは、自分自身をコントロールすること、他人の時間も大切にすることでもあるのです。また、約束の期日を守ることも同じく信頼や信用につながります。

【後始末】

脱いだ靴をそろえる、イスをしまうなど、使った物を元の場所に戻すなどの後始末は、後から使う見知らぬ誰かのために行う行為です。次の人が使いやすいようにと、心を配ることはとても大切な思いやりです。後始末は、自分の行為に責任が持てる大人になるためだけでなく、住みよい社会を築いていくための主体的な実践につながるものです。

このことは、2月に行った新入生児童対象説明会で1年生の皆さんに中学入学までに意識して生活し、入学式に見せてほしい姿として伝えた内容であり、4月の全校朝礼で話した内容です。この4つのことを新入社員の行動指針としている会社もあります。

中学校は大人になる練習をする学校です。これら当たり前のことを行う上で、自分の夢をかなえる土台を府中第五中学校で生活する中で身に付けてくれることを願っています。